

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月23日

計画の名称	新清洲駅周辺におけるにぎわい交流拠点づくり												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	清須市												
計画の目標	新清洲駅周辺において、地域の中心地にふさわしい「人、自然、歴史が織りなすにぎわい交流拠点」の実現を目指し、清洲城等の歴史資源や五条川等の自然へのネットワーク強化、駅前の玄関口にふさわしい建物景観の形成、市民への安心・安全な暮らしの提供、を目標にまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,588	A	1,302	B	286	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	清洲城等への歴史資源や五条川等の自然へのネットワーク強化に資する公共用地率の増加。 新清洲駅北土地区画整理事業地区内の公共用地率 (公共用地率) = ((地区内の公共用地面積) + (買収や仮換地指定・移転に伴い増加した公共用地面積) - (廃道等により減少した公共用地)) / (地区面積 : 5.24ha)	12%	16%	21%
2	駅前玄関口にふさわしい建物景観の形成に資する老朽化(S55年以前に建てられた)建物数の減少 新清洲駅北土地区画整理事業地区内のS55以前に建てられた建物数 (S55以前に建てられた建物数) = (地区内のS55以前に建てられた建物数 : 28戸) - (移転等により除去された建物数)	28戸	23戸	18戸
3	市民の安心・安全な暮らしに資する浸水解消率の増加。 新清洲駅北土地区画整理事業地区内の浸水解消率 (浸水解消率) = (地区外までの雨水排水が整備された流域面積) / (地区面積 : 5.24ha)	0%	0%	19%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	新清洲駅北土地区画整理 事業(1-A-1)	都市再生区画整理事業(A=5.2 ha)	清須市						1,153	-	
	A13-002	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	新清洲駅北土地区画整理 事業(1-A-2)	緊急防災空地整備事業(A=0.1 ha)	清須市						149	-	
												小計						1,302	
											合計							1,302	

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	B13-001	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	新清洲駅北土地区画整理事業（（都）新清洲駅前北線）（1-B-1）	道路 L = 145m、駅前広場 A = 2,445㎡	清須市						286		-	
		新清洲駅北土地区画整理事業（1-A-1）等と併せて実施することで、駅までのアクセス向上や、駅前広場の暫定供用による賑わい演出、空地整備による防災性の向上が期待できる。																		
		道路事業の街路																		
													小計						286	
											合計						286			

C 効果促進事業

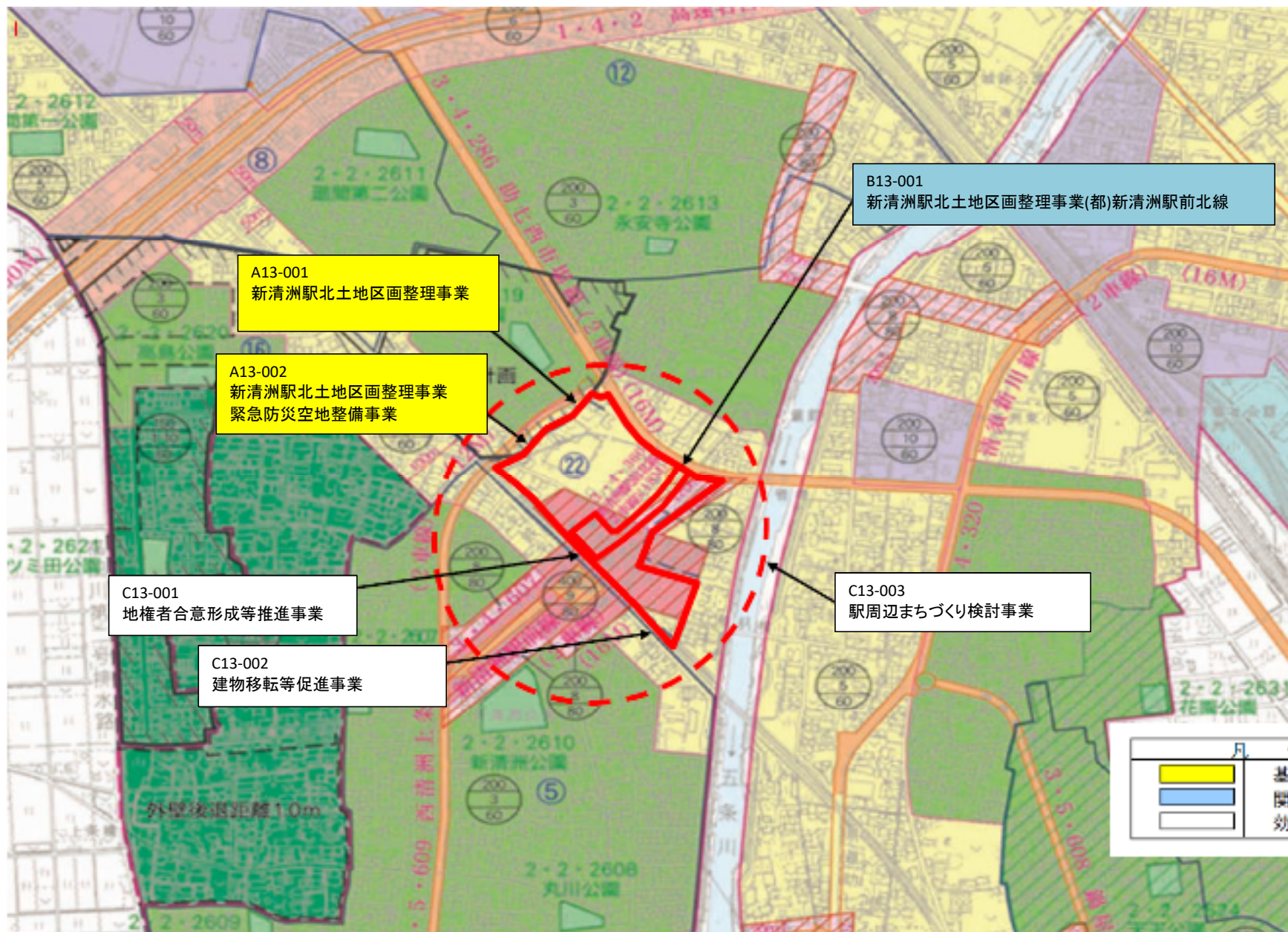
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	地権者合意形成等推進事業（1-C-1）	意向調査、申出換地の方針検討等	清須市						0	-		
		新清洲駅北土地区画整理事業(1-A-1)等と併せて実施することで、地権者合意形成は推進され、建物移転・空地整備による防災性向上が期待できる。																		
		(1-A-1)と併せて行う計画・調査事業																		
	C13-002	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	建物移転等促進事業（1-C-2）	用地買収推進支援、移転計画検討等	清須市							0	-	
		新清洲駅北土地区画整理事業(1-A-1)等と併せて実施することで、建物移転や空地整備による防災性の向上が期待できる。																		
		(1-A-1)と併せて行う計画・調査事業																		
	C13-003	市街地	一般	清須市	直接	清須市	-	-	駅周辺まちづくり検討事業（1-C-3）	まちづくり誘導、まちづくり協議会支援等	清須市							0	-	
		新清洲駅北土地区画整理事業(1-A-1)等と併せて実施することで、にぎわい交流拠点の早期実現や地元住民のまちづくり・防災・防犯への意識向上が期待できる。																		
		(1-A-1)と併せて行う計画・調査事業																		
											小計							0		
											合計							0		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 清須市にて実施	事後評価の実施時期 令和2年3月23日
	公表の方法 ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業に活用される減価買収地の買収が完了し、公共用地の確保が進みつつある。また、一部の区画道路整備が完了し、事業地内の公共用地率が16%まで上昇した。 ・土地区画整理事業地区内のS55以前に建てられた建物は28戸存在したが、現時点で15戸の建物移転が完了し、旧耐震基準の建築物の棟数は13戸まで減少している。 ・平成30年度から雨水排水の整備を行っており、浸水解消率は8%となっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>・建物移転を早期に行うことができれば、道路等公共施設及び雨水排水の整備を促進し、公共用地率の向上及び浸水解消率の増加を図ることができる。したがって、移転計画年度の前年度以前より権利者との交渉を重ね、合意形成を進め、年度当初より建物移転を行えるよう取り組みを行う。</p>	

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	新清洲駅周辺におけるにぎわい交流拠点づくり		交付対象	清須市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)			



A13-001
新清洲駅北土地区画整理事業

A13-002
新清洲駅北土地区画整理事業
緊急防災空地整備事業

B13-001
新清洲駅北土地区画整理事業(都)新清洲駅前北線

C13-001
地権者合意形成等推進事業

C13-002
建物移転等促進事業

C13-003
駅周辺まちづくり検討事業

凡 例	
	基幹事業
	関連事業
	効果促進事業